

ロボット宇宙飛行士「KIROBO」と若田光一 JAXA 宇宙飛行士 国際宇宙ステーションにおいて会話実験を実施

株式会社電通、東京大学先端科学技術研究センター、株式会社ロボ・ガレージ、トヨタ自動車株式会社は、宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)の協力のもと、国際宇宙ステーション(以下、ISS)に滞在するロボット宇宙飛行士「KIROBO(以下、キロボ)」の共同研究“KIBO ROBOT PROJECT”を進めてまいりました。

2013年12月6日に、若田光一 JAXA 宇宙飛行士と共に世界で初めてとなる“宇宙での人とロボットとの対話実験”に成功したことを報告いたします。

- (1) 音声認識によるロボットの自律会話
- (2) ロボットを介した地上との遠隔コミュニケーション

主に上記の2つの対話実験を実施、その様子の一部を公開させていただきます。なお12月6日以降も順次実験を行い、会話ログデータ等を収集していく予定です。この結果については、人とロボットが暮らす未来へ向けてプロジェクト参加各社が役立てていくと共に、宇宙でのコミュニケーションロボット活用の可能性も、検討していきたいと思っております。



【本発表に関する問い合わせ先】

(内容について)

KIBO ROBOT PROJECT 事務局(※電通内 担当:西嶋)

アドレス kibo-robot@dentsu.co.jp 電話番号 03-6216-8381/090-9147-4342

(素材手配・取材希望について)

KIBO ROBOT PROJECT 事務局(※電通パブリック・リレーションズ内 担当:根本)

アドレス y-nemoto@dentsu-pr.co.jp 電話番号 03-5565-2714/080-2076-8038 FAX 03-3542-0634

※公式ウェブサイト <http://kibo-robot.jp/> 公式ツイッター [@kibo_robot](https://twitter.com/kibo_robot)

会話実験の一例

(若田光一 JAXA 宇宙飛行士:W、キロボ:K)

W:キロボくんはどうやって宇宙にきたの？

K:種子島からコウノトリにのってきたよ。

W:コウノトリにのって宇宙まできたんだね。

K:鳥じゃなくて、ロケットのコウノトリだよ。

W:ひとりで来たなんてすごいね。

K:だって、ぼくロボットだもん。



(2013年12月6日撮影)

KIROBO の基本仕様

■ 本体寸法 :

身長約 34cm 全幅約 18cm 奥行き約 15cm

■ 重量 : 約 1,000g

■ 発話言語 : 日本語

■ 主要機能 :

音声認識、自然言語処理、音声(発話)合成、情報通信機能、コミュニケーション動作、顔認識カメラ、記録用カメラ、他



現在までの活動経緯

■ 2012年11月29日 プロジェクト発表とロボットの愛称募集

■ 2013年6月26日 「キロボ」とバックアップクルー「MIRATA(以降ミラタ)」が完成し、記者会見で初公開

■ 2013年8月4日 ISS 補給船「こうのとり」4号機に搭載し、種子島からHII B ロケットにて打ち上げ

■ 2013年8月10日 「キロボ」がISSに到着

■ 2013年8月21日 「キロボ」がISSから第一声

「2013年8月21日、未来の希望へ、ロボットの第一歩です。」

(参考)

■ 2013年11月7日

ロシアの宇宙船「ソユーズ」に乗り、若田光一 JAXA 宇宙飛行士がISSへ出発。翌8日にISSに到着



(2013年8月21日撮影)

KIROBO の帰還予定

■ 2014年12月を予定